

届け 世界の果てまでも

令和4年3月18日 No. 68 文責 校長 飯久保一男



祝 卒業 前向きに しなやかに 「カッコイイ」 皆さんでいてください

※今号の配付は6年生のみで、1～5年生の家庭には配付していません。ホームページでの公開になります。

卒業式での学校長の「はなむけの言葉」（卒業式式辞）の後半部分を掲載します。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんの旅立ちを心からお祝いします。

今年度の皆さんの活躍や努力は、校長通信「届け世界の果てまでも」67号で紹介していますので、この場では、割愛しますが、一言だけ話をさせてください。

私たちは、今年度の学習や活動を、どうしてもコロナ前と比較してしまいましたが、今年度の場合、それは当てはまりません。

皆さんの児童会活動も、私たち教職員も、

コロナ禍の学習や活動において、何ができ、何をめざすのかを考え、取り組んできました。

卒業生の皆さんは、「学び合い」や一人一台端末の「クロームブック」を活用した授業に取り組み、児童会活動や日頃の生活では、下級生のため、学校をよりよくするために取り組んできたのですから、制限のある中で、よく工夫をしてがんばったのです。

私にとって皆さんは、

コロナ禍で様々な制限があっても、工夫してよく取り組んだ自慢の6年生です。

私からの最後の授業として、卒業生の皆さんに、

そのときの状況に応じて、どう考えていくか

たとえ望ましい状況ではない場合だったとしても、

どのように考えたらいいかという話をしたいと思います。

自分を靴の販売をするセールスマンだと仮定してください。

そして、靴の販売先を拡大するために、南の島に派遣されたと考えてください。

靴を売るためにその島に行ったのですが、その島の住民は、みんな裸足で過ごしていたのです。

皆さんならこの状況で、どのように会社に報告しますか？

AとBのセールスマンが、同じ状況でそれぞれ社長に電話で報告をしました。

Aのセールスマンは、

「社長、ダメです。誰も靴を履いていません。この島では靴は売れません。」

と報告しました。

ところが、Bのセールスマンは

「社長、この島には大きな希望があります。靴のすばらしさを伝えれば靴はどんどん売れるはずですよ。」

と報告したのです。

皆さんなら、A・Bのどちらに近い報告をするでしょうか。



卒業生の皆さんは、これから、様々な状況の中で、
自分の気持ちを切り替えて挑戦するとき、
自分の気持ちを奮い立たせていくときがあると思います。
そんなときに

Aのセールスマンのように、はじめからダメだと考えずに、
Bのセールスマンのように、「前向きに」その状況をとらえ、
その状況を「打ち破る強さ」や、「簡単に折れないしなやかさ」をもってほしいと思っています。
また、皆さんは、決して自分一人ではありません。
自分を信じるように仲間を信じて、
「前向きに」「しなやかに」進んでいってほしいと思っています。
こういう姿を私は「カッコイイ」と思います。

昨年から皆さんに「カッコイイ」とはどういうことかという話をさせてもらってきました。
卒業生の皆さんの「カッコイイ」姿は、たくさん見せてもらってきました。
さりげなく下級生にやさしく接している姿、まじめに物事に取り組む姿など、
特別な取り組みだけでなく、毎日の地道な姿を私は「カッコイイ」と感じていました。
皆さんは、コロナ禍であってもがんばった、小笠原小学校の自慢の卒業生です。
卒業式テーマにあるように、希望あふれる未来へ、前向きに、しなやかに、輝いていってください。
そして、「カッコイイ」皆さんでいてください。

私は、皆さんとは2年間の付き合いでしたが、
皆さんの未来を創る大切な小学校で共に過ごせたことに感謝しています。
小笠原小学校は、いつも皆さんの母校であり、心のふるさとです。
卒業生の皆さんの輝かしい未来に、幸せなことがたくさんあふれることをお祈りして、
卒業生に贈る言葉といたします。

令和4年3月18日

南アルプス市立小笠原小学校校長
飯久保一男

6年生にとって、小笠原小学校での6年生の年は今年だけです。繰り返すことはできない大切な1年でした。もし、コロナ禍でなかったら…、と考えることはありませんが、その大切な1年を、私たち教職員も大切にしてきました。6年生の子どもたち、そして、保護者の皆さんにとって、この1年間は、同じく貴重で、大切な1年となっただけの事を願ってやみません。

6年生の皆さん、卒業おめでとう。
私は、皆さんに出会えたこと、
皆さんと共に過ごせたこと
とても感謝しています。

